

新機器導入し認知症デイ開設

佐方のオムエル廿日市営業所



廿日市内で初導入というタッチパネル式の健康管理機器(左)も導入

【廿日市】「デイサービスや訪問介護など手掛ける柳オムエル(広島市安佐南区、黒本正雄代表取締役社長)が廿日市営業所(廿日市佐方3丁目)に1日、認知症の市民を対象とした「デイサービス「Mアゆみ」」を新たに立ち上げた。同市内では初導入というタッチパネル式の「ディスプレイを活用した健康管理機器」を導入し、症状の進行予防に力を入れる。

「Mアゆみ」は同営業所2階の一室に整備した。広さ約10坪で、ベントを備える「健康管理機器」を複数導入し、利用者の健康管理に活用した。また、「Mアゆみ」では、認知症の予防に役立つ「認知症予防プログラム」の3つのスペースで構成する。車椅子でも利用できる「トイレ洗面所」、炊事場などを備え、今後、建物内(個室)にも導入する予定している。

新たに導入した「調

の健康管理サービス」は、利用者の目標に合わせた個別プログラムを設定する。目標達成に向け有効と思われる機能訓練のゲームを自動で選出し「おたのび」や「数字」を並べる「数珠つなぎ」などを表々感覚を取り組む。毎回五分十分実施し、利用者の現状と変化をグラフにして「見える化」することでわかりやすくする。

同営業所の橋本は同営業所を開設した2010年(平成22年)からあったという。藤田貞之助校長は「弊社は地域密着を方針に掲げている。高齢化が進む中、長く在宅で安心して生活を送ってもらうため健康予防に重点を置いた。地域住民が安心して利用できる施設にしていきたい」と話している。

同「デイサービス」は、常時、利用体験を受け付けている。詳細は問い合わせで確認を。

問い合わせ、問い合わせ
〒745-0001 廿日市(20th City)
OMURUKA